



僕も  
you wanna go out somewhere

あ  
い  
ん  
た  
し  
な

Fate/zero book vol.01  
Alexander\*Weaver special  
All presented by hideki KAWAI [LOVE]

?

冬木の山の  
ふもとにある  
温泉に  
やってきました。

「国境の  
長いトンネルを  
抜けると温泉旅館  
だった」……!!

日本の  
有名な  
小説  
でな……?

聖杯って……  
そんな  
知識まで  
植え付けて  
くれんの?  
☆

何だよ  
ソレ……  
あんなに

いや、こないだ  
余りに暇で  
読んだ。

それは  
そうと……

坊主……  
金はどうした?  
温泉に来れるような  
額持っておらんだろう。

ははは!

☆  
コレを  
見ろ!!

「歳末ガラホン  
抽選会3等  
温泉旅行ペア  
ご招待券。」

ハハハハハハ。  
僕のクジ運に  
感謝しろ  
ライダー!!

そういえば  
ちまちま  
補助券集め  
とったの……

何だよおまえ  
行きたがるオ?!





あつ...!!

おまえ「それは青春にありがちな気の迷いだ」とか何とか説教する気だろ...!!

いつだってそうだ。僕のコト子供扱いして何のこト実は赤ん坊か何かだと思ってるだろ?! いいか、僕はなア...!!

回り  
キキキ  
!!



しかも告白するにあたって、「ちよつと」好き「かも」とは何事か。

あま  
あま  
あま  
あま  
あま

肉体的精神的欲求に基づいて

大好きです!!!  
付きあつて  
ください!!!



それでよろしい。

余も好きであるぞ。





1回だけ  
キスした。

156

ただそれだけで…  
関係の何が  
変わったかと  
言うとは…

何も  
変わらなかつた  
んだけれども

しかし、余が温泉に  
行ってみたいなどと…  
よくわかったの…

それやめろ  
…っ!!

別に…っ!!

僕は何だって  
わかるんだ!!

サーヴァントが  
疲労してるから休ませ  
なきゃ!!とか、今が  
攻撃のしどころだ!!とか

マスター  
だから…

当然だろ?

お部屋は  
コチラに  
なります。

おお…  
美しい部屋  
であるな!!

◆  
◆ おお。  
◆  
◆  
◆  
◆

いらっしやい  
ませ。

女将…  
世話に  
なるぞ。

ありがとう  
ございます。

本当は、

単におまえのコト  
ずっと  
見てたからだよ。

何にも  
わかつてない  
無能なマスター  
が…他に何が  
できるってんだよ…。

しかして  
風呂は  
どちらかな?

!!

!!!



何でつつ  
風呂が!!外に  
あるんだよつつ  
!!!

露天風呂とか  
いうものらしいぞ...?

景色を眺めつつ星の  
下で開放感を味わう。  
うむ。風流なり。

星どころか  
雪降ってん  
じゃねえか...!!!

昔を思い出すなア...  
戦の途中で野湯を  
いたたく。アレは  
良いモノであった...

ガチ  
ガチ

ガチ  
ガチ

早々に  
くつろい  
でんじや  
ねえよ!!

文句ばっか言つと  
らんで早く入れ。  
凍え死ぬぞ?

わかってら!!  
—って  
おまえソレ  
どっから  
出した?!!

む?

熱・つ~~~~

露天にはこの様な酌が  
付き物によつて...  
先程女将に  
申し付けておいたのだ。

それはそれは  
要領のよろしい  
コトで!!







な...

何だよ...?

何って!...

何やら物欲しそうな顔でずつと見つめておったではないか。

べつ別にそんなの欲しがってなんかないし!!!

遠慮せんでいい。

遠慮なんかいいしとらんわい!!



ああ...、

...何だよ...?

そういうえば全く飲めんのだったな。それは悪いコトをした。

無理はするな。

の...  
飲めるよ!!





ちやんと  
味わえ。



オイオイ…  
そんなんじや  
味らしい味も  
わからんだろ…



何か…  
甘い。苦い？



……



おっ  
しろ坊主…

おっ…

何か…  
ぐらーっと  
来る…

……





大丈夫  
なのか？  
オイ坊主…

馬鹿に  
するなよ…  
ライダー…

この位  
平気さ…



雪が…

ああ…今、

ライダーと  
同じ景色を見ている。

湯に  
融けてく…

キレイだな…



！

ああ…

昔…

戦の途中で  
ふと見上げると  
雪が降っていた。

長い行軍の果て、  
寒さと凍傷に  
苦しむ、頼むから  
これ以上降ってくれないな、

最果ての海へ行く夢など  
金輪際忘れて  
早く暖かな故郷へ  
帰りたいとすら  
祈っていたが、

生き死にの  
命の間際ほど  
雪が美しく  
見えてくるのだ。

力尽きる間際ほど、  
命を諦めた弱い心が  
雪を美しく  
見せていた。

知っているか？

絵画ではそら醜く、  
おどろおどろしく  
描かれているが

本当の  
死神はいつでも  
この世のものとは  
思えぬ程美しい  
顔をしておるのだ。

……。  
おまえの  
過去には

どうしたって  
行けないけど、

僕もこの世が  
終わる日には、  
おまえのそばに  
いたい。

でも今は、

その寂しそうな横顔に  
ちよつとキスして  
やりたいなあって、不埒な  
コトを考えていた。

恐ろしい程  
恋に堕ちて  
いる。













ライダー……



セックス  
しようか……



僕も……  
どうかしてた  
んだ。



聞こえなかったん  
ならいい。

ほんの…  
冗談だから  
さ…



ははっ…

いつもおまえには  
からかわれて  
ばっかだし…  
たまにはさ…

たまには…

おまえの。



呆気に取られた  
馬鹿面を  
拝んでみたかった  
だけで。



その面だよ  
その…

そら、



顔に「好きだ」って  
貼りつけたまま…

そういう  
コトを言うな。



だって…  
おまえが…っ

おまえが  
無視する  
から…っ



無視する  
からー！



白湯だ。  
飲め……。  
そこは  
寒かろう……。



ト  
ポ  
ポ



何で…

おまえのコト  
なんか…  
好きになっちゃったん  
だろう…



おまえの  
一挙手一技足に  
バカみたい  
舞い上がっ  
ちやったり  
落ちこんだ  
りするんだ…

さっきだっ  
て  
おまえが、



たった3秒  
で  
黙っただけ  
このザマさ…

怖いんだ…

好きって…  
もっと楽しいコト  
だと思ってた…





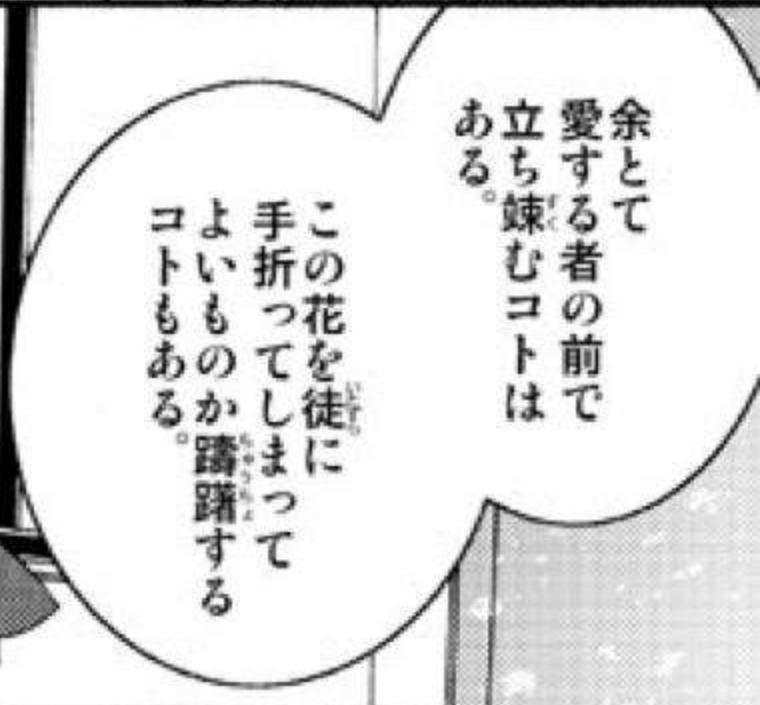
皆……、  
似た様な  
ものだ。



……



余は現在、  
人ならざる身  
故……



余として  
愛する者の前で  
立ち竦むコトは  
ある。  
この花を徒に  
手折ってしまつて  
よいものか躊躇する  
コトもある。



勝てば……  
いい！！

下手をすれば  
数日中にも  
永久の別れと  
なろう。



坊主とは  
生涯を共に  
してやれん。



その為なら僕は  
何だってするし  
何だってやる！！

僕は  
おまえに……

死ななければ  
いい。勝てば  
聖杯が願いを  
叶えてくれる……！！













おまえの  
コト...



忘れられ  
なくして...



好きだよ  
ライダー!





大丈夫か？  
オイ……



僕は壊れないよ。  
これくらいじゃ  
さ……！

なら  
よいが……



何て顔で  
見てんだよ……！



僕がそんな  
へマする訳  
ないだろ……？

うっかりやり  
殺しちゃった  
かと……ちと  
肝を冷やした。

ははっ……



まア、確かに…う？  
散々そこはさわるな  
そこは舐めてくれるなど  
泣き喚いていた割には…

快樂に  
蕩けそうな  
顔しておったの…

ばっ…



顔…

あんまり  
見るな…  
言っただのに…

はは。  
そりやあ見ろと言っ  
ているのと変わらんだろ。



恥じるコトは  
ない。

非常に愛らしく、  
まこと目の  
保養であつた。

馬鹿  
馬鹿  
馬鹿  
!!!!!!

あっはは！



口説いて  
おるのだよ…

もっと近く……

余の腕の中まで  
参れ。

抱きしめて  
こちら辺に軽く  
口付けてくれても  
構わんぞ？

……

……

そうだ。

戦車買って  
やろうか？

余の今の小遣い  
では  
144分の1スケールに  
なるが、戦車は  
いいものだぞ？

それとも  
薔薇の花の  
方が好み  
か？

いやいや……  
書籍の方が  
好みであつた  
か……

坊主の好き  
そうな本を  
見繕って  
リポンをかけて  
贈ろうと思うが  
どうか？

バカ……

その金……つ、  
誰が出すと  
思つてると  
だよ……



おゆ……

そなた……



お泣いても  
お泣いても  
なても……